

第2期大内 体制スタート

安全・安心な社会づくりに貢献



3年ぶりに通常開催となった総会



2期目を務める大内会長
通常総会が新型コロナウイルス感染症拡大の影響で過去2年、書面開催としており、今年度は3年ぶりの通常開催。会員23人が出席した。冒頭、大内会長があい

第39回通常総会

当協会は5月24日、福島市のザ・セレクトン福島で第39回通常総会を開いた。東日本大震災からの復興・創生支援とともに、喫緊の課題である脱炭素社会実現への寄与や、担い手確保のための働き方改革の推進、公共事業予算の継続的確保の要望などを盛り込んだ2022年度事業計画を決定した。任期満了に伴う役員改選で、大内弘之会長と有賀行秀、先崎良博両副会長を再任。大内体制2期目のスタートを切った。

省・新エネ技術を駆使 建築設備工事業の使命全う

災、原子力災害からの第2期復興・創生期間2年目を迎え、避難地域の再生や風評など、いまだ山積する課題の一方、拠点施設等整備の着実な進展を挙げ、「協会としてこれまで、空調衛生設備工事業界の地位向上や社会貢献を目指して事業を推進してきた。引き続き適正価格での受注、発注の平準化、公共工事の継続的な予算確保と入札制度的な予算確保と入札制度に見直しなどの意見、要望を行っていくとともに、全産業的に課題となつて

2021年度の事業決算報告を承認。22年度の事業計画と収支予算の各議案を審議、決定した。改めて「分離発注」の重要性をアピールするとし、地球環境問題や担い手確保、生産性向上などの課題を踏まえ、重点目標事業に①会員の収益性向上による経営安定に関

分離発注アピール 重点目標事業 13項目を決定

する事業②空調衛生等設備工事の技術力向上③関係行政機関並びに友好団体との連携強化④国・県等行政機関並びに議会に対する、地元業者活用と分離発注等（地産地消）の陳情、請願⑤若年技術者、技能者の確保と育成⑥労働安全衛生の向上を踏まえた環境整備⑦協会活動の広報宣伝⑧IT化社会への対応⑨社会貢献⑩県立テクノアカデミーへの協力⑪会員の親睦⑫東日本大震災及び原子力災害からの復興・創生支援の協力⑬社会保険加入推進⑭13項目を設定。スローガン、部門別実施事業を決めた。②面に執行部体制、委員会構成



発行所
一般社団法人福島県
空調衛生工事業協会
発行人 大内 弘之
〒960-8021
福島市霞町9-23
(福島管工事会館)
電話(024)526-2036

持続可能な社会実現に寄与
空調衛生設備工事を通して
地域の復興・創生に協力いたします。
会員一同

2022年度の実践スローガン

「空調衛生設備工事業の重要性と役割をアピールしよう」
「適正な価格での受注と直接発注（分離発注）運動を推進しよう」
「地球環境保全、省エネルギーやリサイクルに積極的に取り組もう」
「再生可能エネルギーを推進し、福島県の復興・創生に会員一丸となって取り組もう」

2022年度事業実施細目

第39回通常総会で議決した2022年度事業の実施細目は次の通り。
■会長直轄部門■
1.建築設備産業の活性化を進展させ、適正な受注活動を推進するため発注機関

との懇談会の開催
2.広報パンフレットを媒介とする業界イメージアップ運動
3.国、県等行政機関への陳情、請願
4.会員企業の労働環境整備を図るため、雇用管理研修会等の開催
5.社会貢献等事業の実施
6.福島県総合設備協会の活動及び設備3団体との連携強化に関する事業
7.友好団体との連携強化に関する事業
■総務委員会部門■
協会の運営及び活動の総括的管理を掌握し、業界活性化のための事業を行う。
1.協会活動の基本方針の策定
2.財政方針の策定
3.組織運営の方策の協議
4.定款及び諸規程の改正検討
5.会員の叙勲、表彰等の選考

6.機関紙発行に関する財源の確保
7.県立テクノアカデミーへの協力
8.会員の親睦事業の実施
9.ホームページ運用に関する事項
10.他の委員会に属さない事項
11.親睦ゴルフコンペに関する事項
12.インターンシップの推進
■経営委員会部門■
会員企業の経営基盤強化を図るため、経営安定策として懇談会、研修会等の事業を行う。
1.会員の経営体質の強化を図るため、経営改善研修会の開催
2.新分野への調査・研究
3.若年技術・技能者等の確保と育成のため、業界活動の啓発
■技術委員会部門■
建築設備技術の高度化・多様化に対処す

るため、施工技術の向上、積算歩掛等の実態調査、講習会及び懇談会を開催する。
1.公共工事の適正施工を図るため、技術講習会や関係法令勉強会の開催
2.高度な設備技術を対象とした特別技術講習会の開催
3.新システム（新規受託可能な分野）の技術勉強会等の実施
4.工事検査評価と施工指導についての研修会の実施
■広報委員会部門■
協会の啓発、広報及び会員相互の情報交換を図るため、機関紙「空衛ふくしま」を発行するとともに業界をPRする。
1.機関紙を発行するための広報委員会の開催
2.建築設備業界の対外的啓発に関する事業の推進

人・街・未来へ

株式会社 小泉東北

代表取締役 野澤 隆一

本社 〒963-8041
福島県郡山市富田町愛宕前47-1
TEL024(952)1211(代)

仙台営業所 TEL022(372)7002(代)
会津営業所 TEL0242(32)9811(代)
石巻営業所 TEL0225(25)7445(代)
仙台南営業所 TEL022(797)7081(代)
福島営業所 TEL024(572)3699(代)

株式会社 小泉 〒167-8555 東京都杉並区荻窪4-32-5
TEL03(3393)2511(代)

空調・衛生・管工機材の総合商社

富士機材株式会社

■郡山支店■
〒963-0725
郡山市田村町金屋字下夕川原167-4
TEL(024)941-3621

■いわき支店■
〒972-8316
いわき市常磐西郷町銭田107-15
TEL(0246)72-1571

TOTO 代理店

タカムラ TAKAMURA

〒960-0180
福島市鎌田字卸町13番地の5
TEL(024)553-1464(代)

営業所
福島・郡山・いわき・会津・水戸
仙台・取手・宇都宮・さいたま
アルテック・未来工房

水道資材総合商社

DAI SAN

太三機互株式会社

本社 〒104-0061
東京都中央区銀座1-19-15
TEL(03)3561-8761(代)

●福島営業所
福島市八木田字榎内23 TEL(024)546-3101
●いわき営業所
いわき市内郷御殿町1-162 TEL(0246)27-7589

SEDIA SYSTEM

郡山 SC (024) 945-2105
会津若松 SC (0242) 23-1122
いわき SC (0246) 24-2266
福島 SC (024) 535-0201
白河 SC (0248) 27-2911

渡辺パイプ株式会社
https://www.sedia-system.co.jp

今総会で第21期執行部体制を次の通り選任した（※は新任）。任期 2 年。

第21期執行部体制

■新役員

顧問	千葉隆	(倉島設備)	大越健一	(大越工業所)
常任相談役	松原兼一	(三共設備)	小坂橋直史	(小坂橋工業所)
会長	大内弘之	(第一温調工業、県北支部長)	坂本憲弘	(大倉工業所)
副会長	有賀行秀	(北関東空調工業、いわき支部長)	遠藤真隆	(いわきエアコン)
	先崎良博	(文化設備工業)	鹿目寿	(※会津ガス、会津支部長)
専務理事	海川正美	(事務局)	柁屋和久	(アークス会津)
会計理事	高橋良行	(高橋設備工業所)	糸井和幸	(糸井熱機、相双支部長)
理事	古川敏博	(光和設備工業所)	木幡安	(コハタ)
	倉島央樹	(倉島設備)	監事 野地幸司	(野地工業所)
	根本剛	(エヌエス工業、県中・県南支部長)	深井信彦	(太三機工)



細野主任電気技師



遠藤主幹兼専門工事検査員



千葉安全衛生係長

CCUS・BIM

今後の展開方向学ぶ

県総合設備協会 安全大会、技術研修会開催

県総合設備協会は7月13日、今年度安全大会、技術研修会をオンライン形式で開いた。構成団体の当協会と県電設業協会の会員119人が参加した。当協会の先崎良博技術委員会担当副会長が「県内建設業の労働災害は、作業員の行動に起因する転倒の割合が高止まりしている。今回大会を契機にさらなる安全衛生意識の定着を図る」とあいさつした。

安全大会では千葉光平福島労働局労働基準部健康安全課安全衛生係長が「建設業における労働安全衛生対策」について講義。県内の死亡・死傷災害推移が近年は建設業だけでなく全体的に増加傾向にあることをデータで示した。

建設業では墜落・転落が全体のうち2割以上を占めることから、はしご、脚立の適切な使用方法を示し、ヘルメット、墜落制止用器具の着用を呼びかけた。今年度から施行された改正石綿障害予防規則のポイントなども解説した。

安全宣言として、当協会・金間浩之文化設備工業工事部長のリードで2022年度全国安全週間スローガン「安全は急がず焦らず怠らず」を唱和した。

技術研修会では、遠藤英典県出納局工事検査課主幹兼専門工事検査員が21年度工事検査結果を踏まえ過去4年分の工事検査、不適合工事実績等を説明した。

工事検査件数は令和元年東日本台風や令和2年本県沖地震の復旧工事完了の影響により増加。国土強靱化に係る工事量増加もあり今年度も増える見込まれている。不適合工事件数は21年度1件で18年度から3年連続の減少。建築設備工事では16年度から出ている。細野厚県土木部技術管理課主任電気技師が「建築関係工事における働き方改革の取り組みー建設キャリアアップシステム(CCUS)・BIMの今後の活用」について講話。CCUS活用工事は、義務化工事として当初設計額1億円以上の工事から発注者が指定。今年度は県土木部全体で13件を予定している。

建築事業でのBIM活用に関しては、3次元モデルにより視覚的に理解しやすいことから合意形成、干渉確認が容易になると説明。また最新データを保持すれば改修の際に調べ部も明確に把握できることなどのメリットを挙げた。工事情報共有システムの概要も示した。

一致団結して新しい一歩を踏み出したい」とあいさつした。

22年度事業計画は①各種災害からの復旧・復興事業への積極的参加②関係機関・団体との連携強化③行政機関、議会への陳情・請願④支部活動活性化事業(例会、技術研修会、親睦会)⑤行政機関との技術懇談会⑥空調衛生等設備工事の技術力向上。

◆相双支部

5月12日、南相馬市の五月で開催。東日本大震災、原発事故から10年以上が経過したが、今年3月の本県沖地震など新たな災害が発生し、依然として地区は混乱しており、現場代理人、監理技術者、施工作業員の確保も課題だとして、会員相互の協力を密にし、地区の復興・創生と社会貢献のために経営体質の改善、強化を目標に活動する。

事業計画に本部事業への積極的な参加、会員拡大などを設定し、新型コロナウイルス感染症による社会情勢の変化に対応しつつ感染防止対策に力を入れる。役員改選では糸井和幸支部長を再選した。

22・23年度委員会体制

経営委員会

担当副会長 先崎 良博
委員長 坂本 憲弘
副委員長 柁屋 和久

委員 (5名)

野地 幸司 (野地工業所)
芳賀 哲夫 (芳賀設備工業)
坂本 憲弘 (大倉工業所)
柁屋 和久 (アークス会津)
木幡 安 (コハタ)

広報委員会

担当副会長 有賀 行秀
委員長 山田顕一郎

委員 (5名)

大浪 喜宗 (オオナミ)
山田顕一郎 (山田設備工業)
田口 良秋 (クレハ設備)
成瀬 亨 (東邦工業)
古川 久男 (恒栄総合設備)

総務委員会

担当副会長 有賀 行秀
委員長 古川 敏博
副委員長 糸井 和幸

委員 (8名)

古川 敏博 (光和設備工業所)
倉島 央樹 (倉島設備)
大越 健一 (大越工業所)
小坂橋直史 (小坂橋工業所)
遠藤 真隆 (いわきエアコン)
蛭田 光俊 (山崎設備)
鹿目 寿 (会津ガス)
糸井 和幸 (糸井熱機)

技術委員会

担当副会長 先崎 良博
委員長 小黒 敬三
副委員長 今野 菊男

委員 (8名)

伊藤 栄一 (東日本ユニットサービス)
今野 菊男 (第一温調工業)
渡邊 勝彦 (石田工業所)
大塚 淳史 (大塚設備)
藤井 政弘 (関彰エンジニアリング)
久田 貢 (久田設備工業)
齋藤 匡司 (興栄設備)
小黒 敬三 (小黒設備工業)

松原氏に旭日双光章

業界発展への功績に光

令和4年春の叙勲で、当協会の松原兼一常任相談役(三共設備)が旭日双光章を受けた。専門工事業務振興功労による受

めた後、14年から第7代勲章の伝達式が5月19日、県庁で行われた。また機械設備工事の分離発注を推進するための活動を国、県、市町村に対し展開した。建築設備関連団体による連携の重要性も認識しており、県電設業協会、県設備設計事務所協会との連携事業にも努め、06年の県総合設備協会設立に貢献した。

令和4年春の叙勲において、旭日双光章を受章する事ができました。叙勲というこのような栄誉ある素晴らしい章を受章する事ができました事に、私自身心より感謝しております。また、これまでもとくに会員皆様のご指導とご支援の賜と深く感謝申し上げますとともに、当社社員および家族の協力に感謝する次第です。

思い起こせば、東日本大震災、東日本台風等災害発生直後は、福島県との災害協定に基づき、業界が一致団結し、地域の守り手としてライフラインの復旧に奔走しました。また、昨今の気温の上昇から学校の教育環境の改善を図るべく実施されたエアコン設置についても、期間が限られた中でしたが、会員が一致団結し対応してきました。

この受章を励みに、今後も皆様方に少しでも恩返しをする事ができるように、建築設備業界の地位向上のため、後進の育成と地道なPR活動の継続により建築設備の魅力を発信し、本協会が低炭素社会のリーダー的な存在となれるよう尽力してまいりたいと思います。



松原氏コメント

このたび、令和4年春の叙勲において、旭日双光章を受章する事ができました。叙勲というこのような栄誉ある素晴らしい章を受章する事ができました事に、私自身心より感謝しております。また、これまでもとくに会員皆様のご指導とご支援の賜と深く感謝申し上げますとともに、当社社員および家族の協力に感謝する次第です。

思い起こせば、東日本大震災、東日本台風等災害発生直後は、福島県との災害協定に基づき、業界が一致団結し、地域の守り手としてライフラインの復旧に奔走しました。また、昨今の気温の上昇から学校の教育環境の改善を図るべく実施されたエアコン設置についても、期間が限られた中でしたが、会員が一致団結し対応してきました。

この受章を励みに、今後も皆様方に少しでも恩返しをする事ができるように、建築設備業界の地位向上のため、後進の育成と地道なPR活動の継続により建築設備の魅力を発信し、本協会が低炭素社会のリーダー的な存在となれるよう尽力してまいりたいと思います。

今後とも、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

支部総会

◆県北支部

5月20日、福島市のザ・セレクトン福島で開催。役員改選で大内弘之支部長を再選した。

21人が出席。大内支部長が「昨年度はコロナ禍や資材価格高騰の影響により、難しい企業経営が求められた。会員の意見を協会運営に反映させたい」とあいさつした。

昨年度事業として、県建設業協会、県電設業協会と共同で福島市発注の市民センター建設に対し地元事業者を優先して活用するよう求めたことを報告した。今年度事業計画は①建設設備工事の直接発注(分離発注)の陳情②技術力向上と経営体質強化③友好団体との連携強化④リニューアルへの積極的な対応⑤会員相互の連携と親睦⑥震災復興・創生支援協力。

◆県中・県南支部

第39回通常総会議案を書面決議した。役員改選で根本剛支部長を再選した。

2022年度事業計画は①県中・県南建設事務所との懇談会

の開催②電設業協会各支部、設備設計事務所協会県中・県南支部との交流・意見交換会の開催③3支部(県北、会津、浜)交流会の実施④県南支部市町村の分離発注と地元事業者発注の要望⑤新規会員の入会促進⑥災害復旧協定に基づく支援⑦各種講習会の開催など。

◆会津支部

5月16日、会津若松市の萬花楼で開き、役員改選で新支部長に鹿目寿氏(会津ガス)を選任した。

週休2日制導入や長時間労働の規制、リモートによる現場監理などに対応するための今年度事業計画を決定した。会津若松・喜多方・南会津建設事務所や会津大学との意見交換、積算制度の内容把握に向けた勉強会などを行う。

鹿目新支部長は「業界の発展に向けて真剣に事業に取り組む」と抱負を述べた。

◆いわき支部

5月10日、いわき市平のいわきワシントンホテル椿山荘で開催。役員改選で有賀行秀支部長を再任した。

会員6人が出席。有賀支部長は「震災復興に関する事業量が減少し、資材高騰、入荷遅れなど厳しい状況にある。

東北地整と
意見交換

資材高騰、状況深刻

「価格転嫁困難」 現状に理解を



東北地方整備局と当協会、県建設業協会（大槻博太会長）は6月15日、WEB方式で意見交換会「写真Ⅱを開いた。東北地整に対し、コロナ禍や不安定な世界情勢による資材価格の高騰を踏まえ、各団体の現状を説明。当協会からは、世界的な半導体不足等により機器

類入荷の見通しが立っていない状況などを伝え、また民間工事には公共工事におけるスライド条項のような価格変動に対応する仕組みがなく、価格上昇分の転嫁が難しい窮状を訴えた。週休2日制の取り組みでは現場状況に応じた対応が優先されるため、休みが取り

にくい実態を説明した。当協会から大内弘之会長兼東北支部長、有賀行秀副会長兼いわき支部長、根本剛典中・県南支部長、鹿目寿会津支部長、系井和幸相双支部長と電設業協会の大槻会長、永井博、小宅武副会長らが出席。東北地整整備部

の片山達也設備技術対策官、早川忍保全指導・監督室長、福島伸和整備課長補佐など意見交換した。大内会長は「時間外労働の罰則付き上限規制適応や脱炭素社会に対

する適応などの新たな課題に対し、発注者と連携していきたい」とあいさつした。東北地整が情報共有として営繕工事で「設計・施工・ICT」の試行を予定していることを説明。このほか民間工事実績や地域精進度・貢献度で評価する総合評価方式の「営繕チャレンジ型」の試行、週休2日促進工事、建設キャリアアップシステム（CUS）の推進などの取り組みを示した。

建産連会長表彰 高橋氏が受賞

協会事業発展に貢献した。高橋氏は1983年の協会から会計理事の高橋良行氏（高橋設備工業所）が会長表彰（団体会員の監事、会計理事を歴任する）を受賞。6月7日に表彰状と記念品の伝達を受

発展に功績のあった会員。高橋氏は1983年の協会から会計理事の高橋良行氏（高橋設備工業所）が会長表彰（団体会員の監事、会計理事を歴任する）を受賞。6月7日に表彰状と記念品の伝達を受

適正利潤確保へ取り組み

日空衛 定時総会 新会長に藤澤氏選任

当協会が加盟する日本空調衛生工事事業協会（日空衛）は、今年度事業計画を決めた。適正利潤の確保や賃上げに

ツブシステム（CCUS）の普及拡大、働き方改革に取り組む。事業を進める上での指針となる「仮称・日空衛2025」の策定に向け検討も行う。



CCUS活用
し新4K定着

縁（えにし）を感じて

公立大学法人会津大学
事務局 総務予算課

渡邊 輝義

4月から会津大学に着任しました。渡邊と申します。どうぞよろしくお願ひします。

会津大学に来る前は、営繕課で営繕設備業務を1年、施設管理課で庁舎整備・維持業務を2年担当してお

すが、「栃尾」まで足を運ぶ人は少なく、あまり知っている方は少ないのでは。

そこで、生まれ故郷の「とちお」のことについて、ちょっと話をさせていただきます。

はじめに「①雁木（がなぎ）」とまちづくり、次に「②城山と景虎」、最後に「③馬市とあぶ

と名乗り、栃尾市街地の西側にある「鶴城山」※地元では通称・城山の栃尾城で14才の時に

一度お試しあれ！

③ 栃尾は昔、江戸の中期頃（約260年前）、「栃尾の馬市（越後の三大馬市）」として大規模な馬の競りが

最後に、新潟から福島に来て34年、長いようないやうな短いような。とても強い「縁（えにし）」を感じております。

今年度の事業計画に①工場見学会の開催②若手社員の実験発表会の開催③東北職業能力開発大学の外部講師対応など担

会津大学は、1993年の開学から間もなく30周年を迎えます。私も92年に県職員に採用されてから「満30年」、共に時を刻んだ

「栃尾」は新潟県のほぼ中央に位置し、名峰守門岳の豊かな自然に抱かれた繊維産業で栄えた町で、現在は平成の大合併で長岡市と

「縁（えにし）」を感じて

（ガン）が群れを成して空を飛んでいる様子に似ていることか

また、「景虎」というと、全国名水百選に選ばれた「杜々の森湧き水」を仕入水に利用

また、「景虎」というと、全国名水百選に選ばれた「杜々の森湧き水」を仕入水に利用

また、「景虎」というと、全国名水百選に選ばれた「杜々の森湧き水」を仕入水に利用

また、「景虎」というと、全国名水百選に選ばれた「杜々の森湧き水」を仕入水に利用

また、「景虎」というと、全国名水百選に選ばれた「杜々の森湧き水」を仕入水に利用

また、「景虎」というと、全国名水百選に選ばれた「杜々の森湧き水」を仕入水に利用



休憩室

花火で有名な「長岡市」は皆さん、知っている方も多いと思いま

花火で有名な「長岡市」は皆さん、知っている方も多いと思いま

花火で有名な「長岡市」は皆さん、知っている方も多いと思いま

花火で有名な「長岡市」は皆さん、知っている方も多いと思いま

花火で有名な「長岡市」は皆さん、知っている方も多いと思いま

花火で有名な「長岡市」は皆さん、知っている方も多いと思いま

花火で有名な「長岡市」は皆さん、知っている方も多いと思いま

花火で有名な「長岡市」は皆さん、知っている方も多いと思いま

花火で有名な「長岡市」は皆さん、知っている方も多いと思いま

日空衛CCUS登録目標

日本空調衛生工事事業協会（日空衛、藤澤一郎会長）は、2022年度建設キャリアアップシステム（CCUS）登録目標を決めた。①技能者登録＝会員企業1次協力会社の技能者80%以上②事業者登録＝会員企業100%、会員企業1次協力会社80%③就業履歴登録数＝請負金額1億円以上、工期半年以上、管理者常駐の元請現場50%以上でカードリーダー設置（前年度実績50%以上の企業はさらに上積み）一を据えた。



今年度の事業計画に①工場見学会の開催②若手社員の実験発表会の開催③東北職業能力開発大学の外部講師対応など担

